



あらたま 賢佑
誠友会
(40分)

**新型コロナウイルス感染症
対策は**

問 ①今後のワクチン接種の見通しは。

②2回目の接種は、1回目の接種から適切な期間を経て打つこととされているが、今後の見通しは。

答 ①まず、10月の早い時期ま



たなか ゆずお
誠友会
(45分)

※コミュニティ・スクールは

問 ①本市では、令和4年4月に開校予定の「想青学園」でコミュニティ・スクールを取り入れることだが、現在計画している取り組みは。

②他の学校への取り入れは。

答 ①開校準備委員会に地域・保護者・学校の代表による地域連

でに市民の約7割の接種をめざす。さらなる接種率の向上に向け、現在、モデルナ社製ワクチンを用いた本市独自の大規模接種会場の設置も検討している。

②現在、本市の集団接種で2回目の予約が取れていない方に対して随時、専用予約枠を設け、接種機会を確保している。なお、8月9日以降は集団接種の予約受け付けに当たり、より確実に2回目の接種をしていただけるよう、1回目の予約日時から3週間後の同時刻、同会場を自動的に2回目として予約する方式に運用を見直した。

携部会を設置し各地域の学習素材を活用した教育内容を協議するとともに、コミュニティ・スクールの目的、取り組みなどを学習し、地域住民や保護者の教育活動への関わり方を考えている。

開校後は、地域住民や保護者の代表が学校運営協議会の委員として、校長が作成する基本方針の承認や教育活動への意見具申など学校運営への参画を通して、地域と共にある学校づくりを進めていく。

②想青学園の開校後、全ての市立学校に順次導入していく考えである。



こばやし たかひろ
誠友会
(55分)

御幸町の浸水対策は

問 進捗状況は。

答 県はこれまで吉野川、加茂川の河道掘削を実施し、昨年度は吉野川の堤防浸透対策の工事に着手した。今年度も引き続き掘削および工事に取り組みと聞いている。本市では新設する森脇ポンプ場のポンプの能力や台数、配置等を



のつせう まさひろ
誠友会
(55分)

福山城築城400年記念事業は

問 城泊の専門家による評価と今後の取り組みは。

答 昨年度、観光庁の支援で行った専門家派遣事業では、駅に近い立地条件や、櫓や広場など福山城の持つポテンシャルについて一定の評価をいただいた。今後も月見櫓を候補に、施設や空間を一体的

検討してきた。今年度は雨水の排出先となる芦田川を管理する国や関係機関などと協議するとともに詳細設計に取り組み。

保育所業務の効率化は

問 これまでの取り組みは。

答 今年度は全公立保育施設にタブレット端末を整備し、施設間の情報共有等に活用するなど、効率化につなげている。

また、**※**スマート保育の導入に向けた実証実験を11月から開始する予定である。

大雨で流失した下山守橋は

問 被災原因と今後の復旧は。

に活用し体験や滞在ができる城泊の企画造成を行い、記念事業として実施できるよう準備を進める。

答 平成30年7月豪雨に伴う復旧で、構造上の制約で橋桁に軽量のコンクリートを採用したことや水圧の影響を受けやすい河川環境も一つの要因と推測している。

現在、残った橋脚などの調査を行っており、その結果を踏まえ、復旧に向け速やかに国と協議を進める。

※コミュニティ・スクール：学校と地域住民などが力を合わせて運営に取り組むことができる「地域と共にある学校」への転換を図るための有効な仕組みであり、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることができる。

※スマート保育：デジタルサービスを活用し、子どもの安全、保護者の安心、保育業務の負担軽減を実現する次世代型保育